

米国の7月雇用統計

過去2カ月分の雇用者数が大幅な下方修正

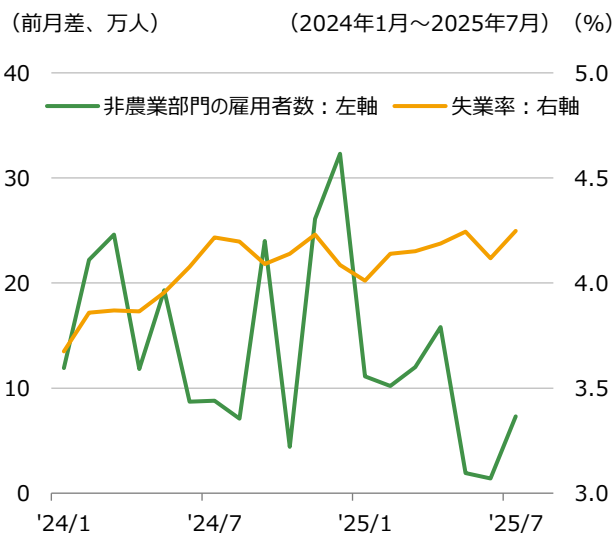
2025年8月4日

雇用者数の増加ペースが急減速した一方で失業率はほぼ横這い

8月1日に発表された米国の7月雇用統計は弱い結果となり、米国金融市場は金利低下・米ドル安・株安で反応しました。非農業部門の雇用者数は前月差+7.3万人と市場予想の同+10.4万人を下回りました。市場参加者の中で今回最も注目されたのは、過去2カ月分の改定です。5・6月の非農業部門の雇用者数は25.8万人の大幅な下方修正となり、2カ月分の下方修正幅としてはコロナ禍の2020年4月以来の大きさです。3カ月平均で見れば、非農業部門の雇用者数は前月差+3.5万人しか増加していません。一方、失業率は4.2%と市場予想に一致し、6月の4.1%から若干の上昇に留まりました。ただし、労働参加率が62.2%と6月の62.3%から低下しており、失業率上昇を抑制した側面があります。

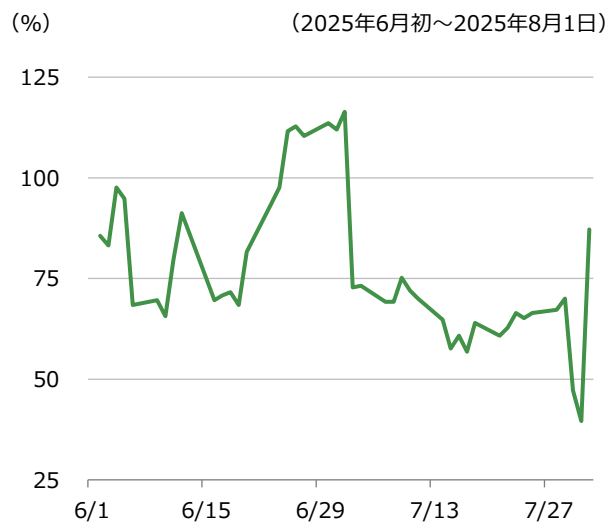
7月雇用統計を受けて、FF金利先物での9月利下げ期待は87.2%と7月31日の39.8%から急上昇しました。また、年内累計の織り込み幅は0.609%ptと、0.25%pt換算で2回超の利下げを織り込んでいます。目先の注目点は、8月12日に公表予定の7月消費者物価指数です。6月分ではコア財価格が前月比+0.2%と5月の同0.0%から加速しました。また、衣料品や娯楽用品など輸入依存度が高い製品での価格上昇が目立っており、6月時点で関税の影響が顕在化し始めていました。関税政策の着地点が見えるにつれ、企業の価格転嫁が進む展開となれば、FRBは雇用の最大化と物価の安定という2つの目標の間でジレンマに陥ることとなり、金融市場は再び揺れ動くリスクがあります。

非農業部門の雇用者数と失業率



(出所) 米労働統計局

9月利下げ期待



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management